

# ワールドワイド携帯電話四半期動向

2013年8月5日報告

## 2013年2Q(4-6月)調査結果 目次

1	2013年2Q(2013年4-6月)結果の要約	3	7	オペレータの最新状況	21
2	7-9月の出荷、販売見通し	4	8	端末販売動向推移	22
3	地域別累積加入推移(四半期別)	6	8.1.	2013年2Q端末販売動向	22
3.1.	中国、インド、ブラジル、ロシア加入推移	9	8.2.	2013年2QのSmart Phone販売動向	25
4	方式別加入推移(四半期別)	11	8.3.	年別販売台数推移	28
5	加入者年別推移	14	9	主要メーカの2013年2Q動向	30
5.1.	地域別	14	9.1.	Samsung	30
5.2.	方式別	15	9.2.	Nokia	34
6	主要オペレータ加入者数推移	16	9.3.	Apple	37
6.1.	アジア	16	9.4.	LG	39
6.2.	西欧	17	9.5.	ソニーモバイル	41
6.3.	東欧	18	9.6.	Motorola Mobility	43
6.4.	北米	19	9.7.	Blackberry	45
6.5.	中南米	19	9.8.	HTC	46
6.6.	中東/アフリカ	20	10	端末各社の出荷計画	47
6.7.	主要オペレータ加入者数推移の世界全体に占める推定比率	21	11	製品在庫状況ほか	48

## 2013年2Qの世界の携帯電話市場概況

### 加入者数推移

4-6月期の新規加入件数は前期比微増に留まった。地域別では欧州、中南米が前期の新規加入件数を下回り頭打ちになった。携帯電話普及率は2012年末で96.1%に達し(97カ国対象/弊社推定)、飽和状況に陥っており、下半期も緩やかな下降トレンドを形成するものとみられる。

欧州では 2012 年以降オペレータによっては趨勢的に累積加入を減らしており、今後中南米、アジアでも同様の事態が生じるものと予想される。2013 年の新規加入件数はほぼ前年並みを予測したが、3Q の結果次第ではさらに下方修正の可能性もある。

## 端末需要

2Q の端末販売台数は Smart Phone が牽引し前期に対し 5%増加した。Smart Phone は 2 億台を越え前期比 10%増を達成、フィーチャーフォンは前期の販売台数を下回った。

2Q では Smart Phone は売上、収益とも Samsung が競合メーカを圧倒し、販売台数は中国国産メーカが内需向けに伸長、グローバルの Smart Phone 市場の拡大に寄与した。

Smart Phone は Galaxy S4 が Samsung 業績に貢献したほか、HTC One をリリースした HTC と Z10 と Q10 のフラグシップが出揃った Blackberry が 2Q の販売台数を引き上げた。

LG とソニーモバイルもそれぞれ LTE 分野、国内需要を背景に堅調な推移を辿った。

Nokia は Smart Phone が順調に販売を伸ばしたものの、フィーチャーフォンが低迷し前期の販売台数を下回った。ただ同社の赤字幅は前年に比べ急速に改善に向かっており、下半期は黒字回復への期待が出ている。

3Q 端末販売台数は前期比 5%の増加を見込んだ。Smart Phone 分野では有力各社がクリスマス商戦を睨み、3Q で新モデルの発表あるいは投入が相次ぎ、Smart Phone 市場は激戦期を迎える。各社が前面に据えるフラグシップ間の競合のため、競争の結果次第ではメーカ間の優劣を左右する重要な四半期になる。

Apple は 3Q 内に廉価版のリリースが確実視され、状況次第ではフラグシップ iPhone 5 の後継機も 3Q 後半に投入する可能性もある。

競合メーカ Samsung は 7 月に Galaxy S4 の廉価版 S4 mini を、9 月には Galaxy S4 と並ぶフラグシップ Galaxy Note 3 を発売し、iPhone 次期モデルに対抗する。

LG は同社のハイエンド Optimus G の後継機 G2 を 8 月に発売、Motorola は Google がバックアップする Android 最新バージョンを搭載した Moto X を満を持して投入する。Google は Smart Phone では Nexus ブランドで端末メーカに生産委託していたが、初めて傘下会社からのリリースになる。Google は Smart Phone 分野における Nexus ブランドからの撤退も噂されており、Moto X は Android 陣営に一定の影響を与えることも予想される。

Nokia も 2Q で Symbian から Windows OS に完全にシフトし、7 月にフラグシップ Lumia 1020 の発売を開始する。Nokia は 900 シリーズと 1000 シリーズの 2 つをハイエンドに据えているが、Lumia920 は IPS 液晶、8.7M カメラ、Lumia 1020 は AMOLED、41 カメラとカメラ性能にシリーズ間のスペックの相違がある。

Nokia はフィーチャーフォン Nokia 105 を 3Q でグローバル展開するため、2012 年初めから続いた端末販売台数の減少に一定の歯止めが掛かるものとみられる。